



PERFECT SERIES

ファインパーフェクトベスト

F★★★★★

ホルムアルデヒド放散等級



屋根



弱溶剤



2液

FINE PERFECT BEST

ターペン可溶2液ラジカル制御形ハイブリッド高耐候屋根用塗料



ファインパーフェクトベスト®



NIPPON PAINT



FINE PERFECT BEST

ターペン可溶2液ラジカル制御形ハイブリッド高耐候屋根用塗料
ファインパーフェクトベスト®

強じんな塗膜と優れた作業性を両立させた
高耐候性の屋根用塗料。
2液タイプでより持ちが良く、上質に仕上がります。

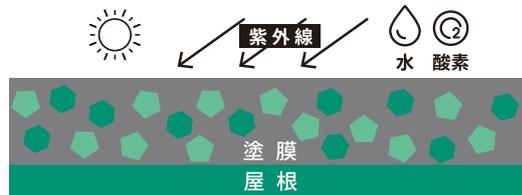


ファインパーフェクトベストの主な特長

1. 高耐候性

特殊光安定剤を複数配合することで
ラジカル制御技術を最大限発揮!!

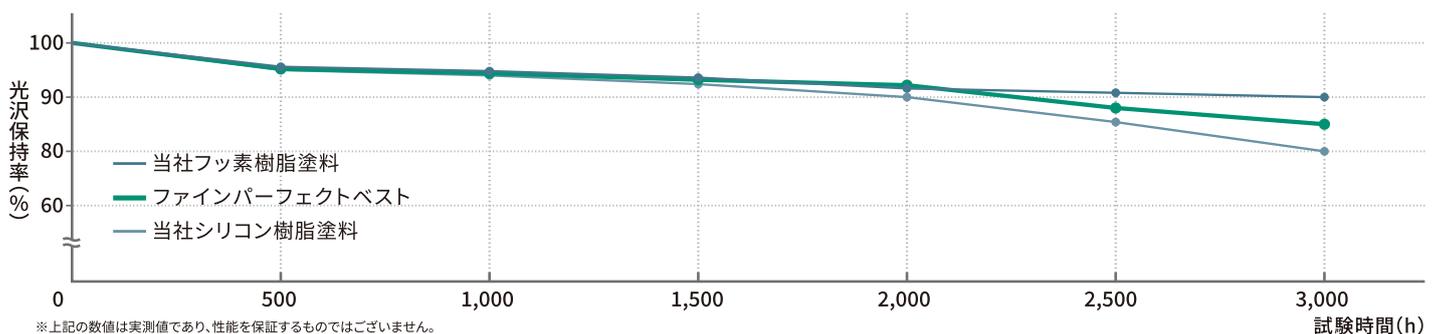
ラジカル制御技術が樹脂の劣化を防ぎます。



※ファインパーフェクトベストは遮熱塗料ではありません。

促進耐候性試験

試験方法：キセノンランプ式試験



■ 上塗り塗料の耐候性のグレードレベル

PERFECT SERIES ファインパーフェクトベスト
ファインパーフェクトブルー
パーフェクトクーラーベスト





2. 対応屋根材

住宅用化粧スレート、洋瓦、セメント瓦、陶器瓦、トタン屋根等の各種屋根素材に幅広く対応します。



3. 塗りやすい

転写強化剤の配合により塗装時の下地への塗着性(転写性)が良好で、ローラー塗装時に塗料の「飛散しにくさ」や「かぶりの良さ」に優れます。さらに初期乾燥性が良いため足跡が付きにくくなります。

4. 豊富な色数

全26色の幅広い標準色をそろえています。

※7kgセットの色相は下記10色限定となります。

(ブラック、コーヒブラウン、ディープグレー、モスグリーン、ダークグレー、ダークチョコレート、チョコレート、ニューワイン、マルーン、グリーン)

5. 防藻・防かび機能

藻やかびの発生を抑制し、建物の美観を維持します。

塗料性状・荷姿・塗装方法

塗料名	色相	つや	容量	希釈剤	希釈率	使用量(kg/m ² /回)	塗装方法	ポットライフ
ニッペファインパーフェクトベスト	26色	つや有り	14kgセット (塗料液12kg・硬化剤2kg)	塗料用シンナーA	0~10%	※2 0.15~0.18	はけ ウールローラー エアレススプレー	6時間(23°C)
	10色		7kgセット ※1 (塗料液6kg・硬化剤1kg)					

※上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定器・測定方法により増減します。

※上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

※1) 7kgセットの色相は下記10色限定となります。

(ブラック、コーヒブラウン、ディープグレー、モスグリーン、ダークグレー、ダークチョコレート、チョコレート、ニューワイン、マルーン、グリーン)

※2) 使用量: 銅板屋根の場合 0.12~0.14kg/m²/回、スレート屋根の場合 0.15~0.18kg/m²/回

適用下塗り塗料・適用下地

	適用下塗り塗料	適用下地
屋根	<ul style="list-style-type: none"> ● ファインパーフェクトベスト強化シーラー ● 1液ファインパーフェクトシーラー ● ファインパーフェクトシーラー ● パーフェクトプライマー ● ファイン浸透シーラー ● ファイン浸透造膜シーラー ● 1液ベストシーラー ● ハイボンファインプライマー II 	<ul style="list-style-type: none"> ● 住宅用化粧スレート屋根 ● 洋瓦 ● セメント瓦 ● 陶器瓦 ● トタン屋根 ● 各種旧塗膜の上

乾燥時間

	5~10°C	23°C	30°C
指触乾燥	60分	20分	15分
塗り重ね乾燥	6時間以上7日以内	3時間以上7日以内	2時間以上5日以内

※乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

標準塗装仕様(塗り替え)

●住宅用化粧スレート屋根・波形スレート屋根

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23°C)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	ごみ、ほこり、かび、こけ、藻など、付着物を入念に除去する。素地に近づけ9.8MPa(=100kgf/cm ²)以上の高圧水洗が望ましいが、高圧水洗が出来ない場合はホースで水を流しながら金属ワイヤブラシなどを用いて清掃する。水洗い後は翌日まで乾燥させる。旧塗膜がある場合は、浮いたり、割れたり、剥れたりしている劣化塗膜、露出している着色セメント層を入念に除去する。十分に付着している活膜は残してよい。						
下塗り	ファインパーフェクトシーラー	1~2※1	0.05~0.30※	4時間以上7日以内	無希釈※2	—	はけ・ウールローラー・エアレススプレー
上塗り	ファインパーフェクトベスト	2	0.15~0.18	3時間以上7日以内	塗料用シンナーA	0~10	はけ・ウールローラー
縁切り	水切部で化粧スレートの上下の重なり部分が塗料でつまっている箇所は縁切りを行う。						

※使用量は素材によって異なりますので次を目安にしてください。吸い込みの少ない素材(劣化の少ないサイディングなど):0.05~0.12(kg/m²/回)、吸い込みのある素材(スレート屋根など):0.15~0.30(kg/m²/回)

●カラートタン

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23°C)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
縁切り	剥れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜、さび、付着物などの周辺をワイヤブラシ、クレン棒などで除去する。溶接部のさびは、電動工具で除去する。油脂分、水分は溶剤拭きを行い清潔な面とする。						
下塗り	パーフェクトプライマー	1	0.14~0.16 0.16~0.18	4時間以上7日以内	塗料用シンナーA	0~5 0~5	はけ・ウールローラー エアレススプレー
上塗り	ファインパーフェクトベスト	2	0.12~0.14	3時間以上7日以内		0~10	はけ・ウールローラー

●洋瓦・セメント瓦・脆弱住宅用化粧スレート屋根、陶器瓦

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23°C)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	ごみ、ほこり、かび、こけ、藻など、付着物を入念に除去する。素地に近づけ9.8MPa(=100kgf/cm ²)以上の高圧水洗が望ましいが、高圧水洗ができない場合はホースで水を流しながら金属ワイヤブラシなどを用いて清掃する。水洗い後は翌日まで乾燥させる。旧塗膜がある場合は、浮いたり、割れたり、剥れたりしている劣化塗膜、露出している着色セメント層を入念に除去する。十分に付着している活膜は残してよい。						
下塗り	スレート・セメント瓦	※1	0.15~0.30	4時間以上7日以内	無希釈	—	はけ・ウールローラー・エアレススプレー
	洋瓦 陶器瓦	1~2					
上塗り	ファインパーフェクトベスト	2	0.10~0.15 0.15~0.18	3時間以上7日以内	塗料用シンナーA	0~10	はけ・ウールローラー
縁切り	水切部で化粧スレートの上下の重なり部分が塗料でつまっている箇所は縁切りを行う。						

※1)シーラーは、ぬれ感が出るまでを目安にしてください。素地への吸い込み箇所がある場合は、その部分を増し塗りしてください。

また、シーラー乾燥後ガムテープで基材のはがれがないかチェックし、はがれ等がある場合は再度シーラーを塗付してください。

※2)少しでも希釈すると付着性が低下します。

※下塗りにはファインパーフェクトシーラー、1液ベストシーラー、ファインパーフェクトベスト強化シーラー、ファイン浸透造膜シーラーなどもご使用いただけます。

※ハイボンファインプライマーⅡ、ファインパーフェクトシーラー、1液ベストシーラー、ファインパーフェクトベスト強化シーラー、ファイン浸透造膜シーラー、ファイン浸透造膜シーラーは、高温化では硬化反応が著しく早まります。高温時の施工では、ファインパーフェクトベスト強化シーラーの場合は上塗りを5日以内、その他は上塗りを3日以内に塗り重ねてください。

※上記の各数値は、すべて標準のものです。

※アスファルトシングル屋根の塗り替えは上塗りの仕上がりを良くするため、下塗りに水性シリコンベストサフェーサー、上塗りに水性シリコンベストⅡつや消しをご使用ください。

施工上の要点と注意事項 ※詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。

- 水切り部で屋根材の重なり部分に塗料が付着し詰まっていると、漏水の原因になります。皮すき、クレン棒、カッターなどを用いて溜まった塗料を除去する縁切りを行ってください。
- 水洗い後は、1日以上乾燥させてください。また素材表面が雨、露などで濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください(光沢低下、剥れ、割れ、はく離の原因となります)。
- 下地調整が不十分だと塗膜はく離の原因となり、光沢が出ないなどの仕上がり不良になる場合があります。塗り替えでは必ず素地に近づけ9.8MPa(=100kgf/cm²)以上の高圧水洗が金属ワイヤブラシなどによるクレン後、水洗いを実施し、付着物、劣化塗膜や基材の劣化物を十分に除去してください。
- 昼夜の温度差が激しい時期や、山間部など夜露の早く降りる地域では、結露によるつや引け現象が起こりやすいため、早めに塗装を終えて十分に乾燥時間を確保してください。塗装後早期に結露の影響を受けると光沢低下や剥れ、割れ、はく離の原因となります。
- 塗装場所の気温が5°C未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 粘土瓦の種類で釉薬瓦は塗装場合は、ファインパーフェクトベスト強化シーラーを下塗りとしてお使いください。その他の粘土瓦(いぶし瓦など)には使用しないでください。
- 洋風コンクリート瓦仕様の再塗装の場合は、別途最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 経年劣化や下地の劣化が著しい場合は、「ニッペファイン浸透造膜シーラー」、「ニッペファインパーフェクトベスト強化シーラー」をご使用ください。
- シリコンベスト強化シーラーをご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により旧塗膜を傷し、溶剤剥れや縮みなどの異常が発生することがあります。試し塗りなどで確認のうえ、本施工を行ってください。
- シーラー類、サフェーサーと上塗りの混合は避けてください。はけ、ローラーなどの共用も避けてください。
- 下塗り乾燥後、ガムテープで基材のはがれがないかチェックし、はがれがある場合は、再度下塗りを塗付してください。
- 防さび性はありません。むね、すみむねなど金属製役物が、さびている場合は、発さび部とその周囲を十分にクレンし、下塗りに、「ニッペ1液ハイボンファインデコ」塗装後、上塗りを塗装してください。
- 塗り替え後は、滑雪性がよくなる場合があります。積雪時にまとまった雪が落ちる可能性がありますのでご注意ください。
- 無石綿スレート板に塗装すると反りやクラックが発生する可能性があります。
- 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- 異なる色相を塗り重ねる場合(例:1回目の上塗りを塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗装する場合など)2回目の上塗りを1回目の上塗りを侵してラインや帯などが変色(ブリード)によりする場合がありますのでご注意ください。
- 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- 硬化剤は湿気硬化しますので密栓して貯蔵してください。
- 塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高温、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清潔な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を傷し溶剤剥れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご確認ください。
- 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
- 汚れ、きずなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビクロス、塩ビソル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革などへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 塗料は内容物が均一になるようによくは混ぜてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて底層の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

■本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート(SDS)をご参照ください。■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

日本ペイント株式会社

- 北海道支店 ☎011-370-3101
- 東北支店 ☎022-232-6711
- 関東支店 ☎03-5479-3614
- 北関東支店 ☎03-5479-3614
- 中部支店 ☎052-461-1960
- 近畿支店 ☎06-6455-9608
- 中国支店 ☎082-281-2180
- 四国支店 ☎0877-56-2346
- 九州支店 ☎092-751-9861

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の商品名、ロゴマークは、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- Copyright © 2026 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

お家のカラーコーディネートガイド



最新情報・お役立ち情報発信中



カタログNo.

NP-E020
NP260125H
2026年1月現在